

09/823.990
AU457

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-237975

(43)Date of publication of application : 31.08.1999

(51)Int.Cl.

G06F 9/06

(21)Application number : 10-040383

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 23.02.1998

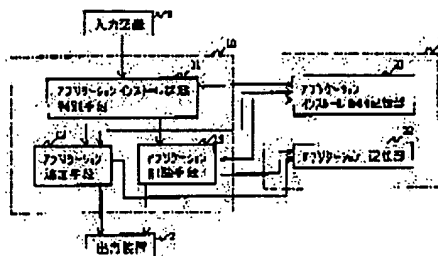
(72)Inventor : KIMURA KEIICHI

(54) RECORDING MEDIUM STORING PROGRAM THAT AUTOMATICALLY EXECUTES ADDITION AND ELIMINATION OF APPLICATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically discriminate the installation state of an application by storing a program that makes a computer execute automatic addition processing and automatic elimination processing of an application.

SOLUTION: A program that adds and eliminates an application is started, a user selects an application, an application installation information storing part 21 is referred to and whether the application is already installed is discriminated based on reference information. When it is not installed, the application is added based on application installation information 21 and it is recorded on an application storing part 22. When it is already installed, the application is added based on the information 21 and it is eliminated from the part 22. Finally, changed information is recorded on the part 21 and the program of addition and elimination is finished.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-237975

(43) 公開日 平成11年(1999) 8月31日

(51) Int.Cl.⁸

G 0 6 F 9/06

識別記号

4 1 0

F I

G 0 6 F 9/06

4 1 0 B

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-40383

(22) 出願日 平成10年(1998) 2月23日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 木村 啓一

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74) 代理人 弁理士 山下 稔平

(54) 【発明の名称】 アプリケーションの追加と削除を自動実行するプログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 アプリケーションの追加と削除をおこなう場合、追加か削除かをユーザが判別し、入力する必要がある、またアプリケーションの追加と削除実行時に、ユーザが種々の入力をおこなう必要があった。

【解決手段】 アプリケーションの追加をユーザの入力なしに実行するアプリケーションの自動追加処理と、アプリケーションの削除をユーザの入力なしに実行するアプリケーションの自動削除処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 アプリケーションの追加をユーザの入力なしに実行するアプリケーションの自動追加処理と、アプリケーションの削除をユーザの入力なしに実行するアプリケーションの自動削除処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 2】 アプリケーションが既にインストールされているかどうかを判別する処理をコンピュータにさらに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする請求項 1 に記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、アプリケーションの追加と削除用プログラムを記録した記録媒体に関し、特にアプリケーションのインストール状態を判別し、自動的にアプリケーションの追加と削除ができるプログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のアプリケーションの追加と削除プログラムでは、図 1 に示すように、アプリケーションの追加手段と、アプリケーションの削除手段と、アプリケーションおよびアプリケーションインストール情報を記憶する記録装置とから構成されている。

【0003】 図 1 において、符号 31 は入力装置、32 は出力装置、40 はコンピュータ（中央処理装置；プロセッサ；データ処理装置）、41 はアプリケーション追加手段、42 はアプリケーション削除手段、50 は記憶装置、51 はアプリケーションインストール情報記憶部、52 はアプリケーション記憶部を示す。

【0004】 このような構成を有する従来のシステムはつぎのように動作する。すなわち、アプリケーションの追加と削除の選択はユーザ自身がおこない、入力装置 31 より入力する。

【0005】 アプリケーションの追加をおこなう場合には、アプリケーションの追加時に必要な情報（名前、会社名追加先のフォルダ等）をユーザが入力装置 31 より入力し、また、確認の入力を入力装置 31 より入力する。種々の入力をユーザがおこなったのち、アプリケーションは記録装置 50 に記憶される。

【0006】 またアプリケーションの削除をおこなう場合には、アプリケーションインストール情報を元に削除をおこなう。このときユーザは確認の入力を入力装置 31 よりおこなう。種々の入力をユーザがおこなったのち、アプリケーションは記録装置 50 から削除される。

【0007】 これらの従来技術に関連する記載は、たとえば特開平 5-289856 号公報、特開平 8-147158 号公報等にも見られる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】 このような従来技術の

第 1 の問題点は、アプリケーションの追加と削除の判別をユーザがおこない、入力する必要があるということである。

【0009】 その理由は、アプリケーションがインストールされた状態であるかを判別する情報を記録していないためである。

【0010】 第 2 の問題点は、アプリケーションの追加と削除をおこなう際、ユーザが種々の入力をおこなわなければならないということである。

【0011】 その理由は、アプリケーションの追加と削除に必要な情報を記録していないためである。

【0012】 本発明の目的は、アプリケーションのインストール状態を自動判別するシステムを提供することにある。

【0013】 本発明の他の目的は、アプリケーションの追加と削除を、ユーザが入力装置から情報を入力することなく、自動的におこなうシステムを提供することにある。

【0014】

【課題を解決するための手段】 本発明記録媒体は、アプリケーションの追加をユーザの入力なしに実行するアプリケーションの自動追加処理と、アプリケーションの削除をユーザの入力なしに実行するアプリケーションの自動削除処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したことを特徴とする。

【0015】 すなわち本発明によれば、アプリケーションの追加と削除は、ユーザの入力操作を必要とせずに自動的に実行される。

【0016】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0017】 図 2 を参照すると、本発明の第 1 の実施の形態は、プログラム制御により動作するコンピュータ（中央処理装置；プロセッサ；データ処理装置）10 と、アプリケーションおよびアプリケーションインストール情報を記録する記憶装置 20 とから構成されている。

【0018】 コンピュータ（中央処理装置；プロセッサ；データ処理装置）10 は、アプリケーションインストール状態判別手段 11 と、アプリケーション追加手段 12 と、アプリケーション削除手段 13 とを含む。

【0019】 アプリケーションおよびアプリケーションインストール情報を記録する記憶装置 20 は、アプリケーションが既にインストールされているかどうかを示す情報、およびインストールに必要な名前等の情報を記憶したアプリケーションインストール情報記憶部 21 と、アプリケーションプログラムを記録するアプリケーション記憶部 22 とを含む。

【0020】 これらの手段は、それぞれつぎのように動作する。

【0021】アプリケーションインストール状態判別手段11は、アプリケーションが既にインストールされているかどうかを、アプリケーションインストール情報記憶部21に記憶されている情報をもとに判別する。

【0022】アプリケーション追加手段12は、アプリケーションインストール情報記憶部21をもとに、アプリケーションの追加を自動でおこなう。

【0023】アプリケーション削除手段13は、アプリケーションインストール情報記憶部21をもとに、アプリケーションの削除を自動でおこなう。

【0024】次に、図2の構成図および図3のフローチャートを参照して本実施の形態の全体の動作について詳細に説明する。

【0025】まず、アプリケーションの追加と削除のプログラムを開始し、ユーザがアプリケーションを選択する(図3のステップ101)。次に、アプリケーションインストール情報記憶部21を参照する(ステップ102)。次に、参照した情報をもとに、アプリケーションが既にインストールされているかどうかを判別する(ステップ103)。

【0026】アプリケーションがインストールされていない場合は、アプリケーションインストール情報21をもとにアプリケーションの追加をおこない、アプリケーション記憶部22に記録する(ステップ104)。

【0027】アプリケーションが既にインストールされていた場合は、アプリケーションインストール情報21をもとにアプリケーションの追加をおこない、アプリケーション記憶部22から削除する(ステップ105)。

【0028】最後に、アプリケーションインストール情報記憶部に、変更された情報を記録し(ステップ106)、アプリケーションの追加と削除のプログラムを終了する。次に、本実施の形態の効果について説明する。

【0029】本実施の形態では、アプリケーションが既

にインストールされた状態であるかを確認するように構成されているため、追加と削除の判別を自動でおこなうことができる。

【0030】また本実施の形態では、さらに、アプリケーションの追加と削除時に必要な情報をアプリケーションインストール情報から参照するように構成されているため、ユーザが入力装置から入力することなしに、自動でアプリケーションの追加と削除をすることができる。

【0031】

【発明の効果】以上に説明したように本発明によれば、アプリケーションインストール情報を参照するため、アプリケーションの追加と削除を自動判別できるという効果が得られる。

【0032】また第2の効果として、アプリケーションの追加と削除がユーザの入力なしに自動でできることがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来の技術での形態の構成を示すブロック図である。

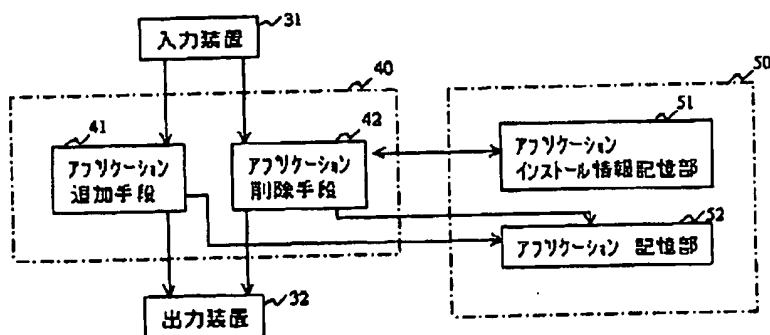
【図2】本発明の実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図3】本発明の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

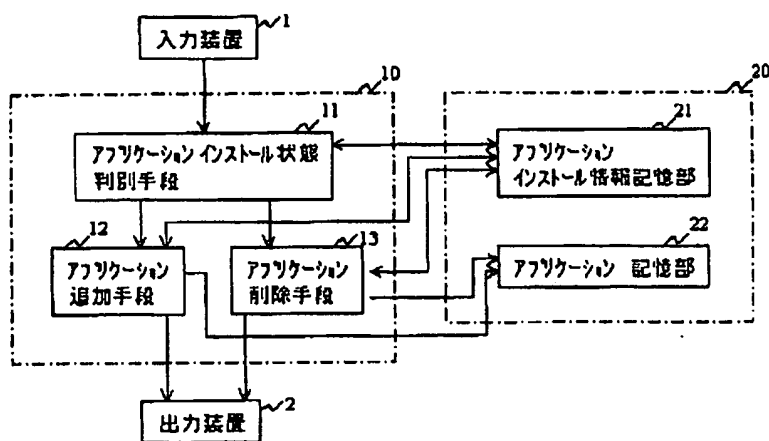
【符号の説明】

- 10, 40 コンピュータ(中央処理装置; プロセッサ; データ処理装置)
- 20, 50 アプリケーションおよびアプリケーションインストール情報記憶装置
- 11 アプリケーションインストール状態判別手段
- 12, 41 アプリケーション追加手段
- 13, 42 アプリケーション削除手段
- 21, 51 アプリケーションインストール情報記憶部
- 22, 52 アプリケーション記憶部

【図1】



【図2】



【図3】

